

## 第136回 消費者安全調査委員会 議事要旨

■日 時：令和5年12月15日（金）10:00～12:12

■場 所：共用第4特別会議室（Web会議システム併用）

■出席者（敬称略）

<消費者安全調査委員会>

委員長：中川丈久

委員：小川武史、河村真紀子、小塚荘一郎、宗林さおり、東畠弘子

臨時委員：中原茂樹

専門委員：大藏倫博、大野美喜子、元治恵子、小坂潤子、高木元也、高澤祐治

有識者：八藤後猛

<消費者庁>

植田審議官、阪口消費者安全課長、池田事故調査室長、事故調査室員

■議事次第：

1. 開会
2. 個別事案について
  - (1) 選定事案
  - (2) 申出事案
  - (3) その他
3. 閉会

■議事概要：

1. 開会
2. 個別事案について
  - (1) 選定事案
    - 「スポーツジム等におけるパーソナルトレーニングによる事故及び健康被害」について、事故要因の分析及び再発防止策を講じるために必要な情報を取得するためのツールとして、アンケート並びにインタビュー調査を検討しており、その効果的な方法及び内容について審議を行った。
    - 「木造立体迷路の床板の落下による事故」について、木材の腐朽の専門家に事故が発生した立体迷路の診断をしていただき、この様子について、現地に同行した事務局から説明があり、これを基に審議を行った。
    - 「住宅の窓及びベランダからの子どもの転落事故」については、ハード対策を主とした再発防止策をいくつか検討している。その中の一つに補助錠があるが、市販されている様々な補助錠の中で、どのようなものが適切なのか、実際に取り付けを行う実験を予定しており、その内容について整理した。

(2) 申出事案

○ 申出のあった個別事案については、選定・不選定事案決定済みの536件及び連絡済みの15件を除く17件と11月に申し出のあった1件の計18件について検討し、調査委員会では次の通り決定した。

- ・引き続き情報収集を行う 17件
- ・調査等を行わない 1件

3. 閉会

文責：消費者庁事故調査室